

(仮称) 生きものつながる世田谷プラン (素案) に関する
区民意見提出手続の実施結果及び素案からの変更点

1. 区民意見提出手続の実施結果

(1) 意見募集期間

平成28年9月8日～9月29日

(2) 意見提出人数と件数

126人 (はがき76、ホームページ6、持参1、FAX 1、シンポジウム3、
その他12)、196件

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
全体	①プランに対する前向きな意見 ■プランがあると初めて知ってとてもうれしい。 ■プランがとても素晴らしい ■素案は細部にわたり良くまとまっている。 ■「生きものつながる世田谷プラン」はとてもよい ■区分の仕方がよい。 ■理想的なプラン ■生きものと緑について考えるきっかけになり、良いと思う ■気軽に楽しみながら取り組めるプランとした ■大変良い方向にある。応援していきます。 ■人や緑、生きものつながりを大切にしたい ■自然を大切にしたい ■プランはよくできている ■なかなか良いと思う ■世田谷区の将来への自然への姿勢に拍手 ■企画大賛成	15	プランの策定により、子どもから高齢者までのすべての区民、事業者、行政など、様々な主体が生物多様性を意識したライフスタイルを実践し、生物多様性の恵みが将来にわたって受け続けられ、活力のある活動が生み出される街を目指し、取り組みを進めてまいります。
	②プランに求める期待 ■すべての人間と動物、鳥などが安心して住めるようにお願いします ■自然環境を保全してほしい	5	多世代にわたる区民、事業者など、各主体によって取り組みが進められ、生物多様な街

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<p>■世田谷トラストまちづくりの役割の強化（2件）</p> <p>■若い世代の参加者が少ない</p>		<p>づくりが進められるよう、努めてまいります。</p>
	<p>③素案の内容について</p> <p>■既存事業は生物多様性の視点から見直す必要がある</p> <p>■生物多様性の維持・拡充の具体策が盛り込んであるとよい（2件）</p>	8	<p>既存事業の生物多様性に配慮した取り組みにつきましては、プラン策定後、実行にうつしてまいります。</p>
	<p>■生きものの生態に係る表記方法や表現に係る具体的な修正意見（個別具体的に22件）</p> <p>■種名の表記法の統一に係る具体的な修正意見（個別具体的に8種）</p>		<p>ご意見を参考に追記、あるいは修正いたします。</p>
	<p>■世田谷らしさとして、区内の活動団体のことを取り上げてほしい（それぞれの活動内容や思い、成果など、人と生きものとのつながりの観点）</p>		<p>プラン策定にあたりヒアリングにご協力いただいた団体について、本編に記載しておりますが、取り組みを実施する際に、活動団体のPRに努めてまいります。</p>
	<p>■重要種に係る写真掲載について配慮してほしい</p>		<p>ご意見を参考に写真掲載について配慮いたします。</p>
	<p>■掲載している写真について撮影箇所が区内か区外かが分かるような表記を加えてほしい</p>		<p>ご意見を参考にさせていただきます。</p>
<p>第2章 世田谷の成り立ち、現状と課題</p>	<p>■P26の文章が分かりづらい。文章と表の生きものを一致させてほしい（「代表的な生きもの」の選定基準への疑問、取り上げた種の扱いへの認識）</p> <p>■「地域で見られる生きもの」の表をわかりやすくする（2件）</p>	4	<p>ご意見を参考に追記、あるいは修正いたします。</p>
	<p>■住宅エリアと市街地エリアの線引き基準はどうなっているのか</p>		<p>平成23年度に実施した、「世田谷区土地利用現況調査」、「みどりの資源調査」により出されたみどり率、農地分布を参考に、エリアを検討いたしました。</p>

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
景観の保全	<ul style="list-style-type: none"> ■取り組み方針にある「景観の保全」や「農地の保全」のプラス面だけでなく、マイナス面も考えるべきではないか 	1	ご意見を参考にさせていただきたく思います。
河川・水辺の保全	<ul style="list-style-type: none"> ■雨水の地下への浸透 ■屋上緑化からの排水による川の富栄養化など、何かをするとき他の負の影響を考えるべき 	2	取り組み方針 1-3「河川・水辺の保全」において、雨水浸透に努めてまいります。
農地の保全	<ul style="list-style-type: none"> ■農の保全よりも時代に合わせた施策が望まれる ■みどり 33 条例の強化・厳格化、農地保全の施策が必要 ■畑として維持・継続運営するための優遇措置が必要 	3	農地は、食べ物などの資源を作り出すだけでなく、まちの環境を整え、生きものの生息地となる重要な場所です。取り組み方針 1-4「農地の保全」において、農地の保全に努めてまいります。
公園緑地のネットワークづくり	<p>①雑木林の再生について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■40～50 年前に世田谷にもあった雑木林を作ってほしい ■今ある自然を守っていくためには木を伐り、萌芽更新を行うことも必要（2 件） 	3	取り組み方針 2-2「公園緑地のネットワークづくり」において、ご意見を参考に、生物多様性に配慮した緑地の整備・管理に努めてまいります。
	<p>②生物多様性に配慮した公園緑地等の整備・管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「公園緑地のネットワークづくり」は必要か ■生物多様性に重点をおいて、環境整備を行っていただきたい ■公園、緑道、区の施設の敷地などに蝶が産卵したり、好んで寄ってくる植物を植えたらどうか ■公園に虫の住処となるよう落ち葉、腐葉土、間伐材、ほだ木等を設置してほしい ■公園に水場がほしい ■ホタルが住めるような環境をつくる ■樹木伐採や開発再生、草刈り等を実施する際に配慮してほしい ■自然樹形を意識して管理していただきたい ■緑地の残存・整備拡大への要望 	24	生きものは移動して生活しているため、生物生息空間である公園や緑地が繋がっていることが重要です。取り組み内容 2-2-1 の「生物多様性に配慮した公園緑地の整備」、及び取り組み内容 2-2-2「生物多様性に配慮した公園緑地の管理」において、ご意見を参考に様々な工夫を取り入れた環境づくりを進めてまいります。

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ■生物多様性の地域を守り育てるだけでなく、創出することも必要 ■空家、空地を利用した公園緑地を作してほしい（2件） ■緑あふれる風通しのよい公園が必要 ■区の費用で区有地を増し、そこを緑豊かな保育園、老人保養地、公園など地域の共有地にする ■公園などの緑を周知することが大切 ■公園設計の将来的な構想等を知る場を設けてほしい ■マンションや公園、街路樹に樹名板がほしい ■公園等において「この鳥はこの木が好きです等」の説明がほしい ■自然資源を守るための看板があるとよい ■花や樹木の名札を設置してほしい ■野毛一丁目の元建設省跡地は、大きな木々を活かした、公園整備をしてほしい ■喜多見ふれあい広場に様々な生きものを呼び方を考えてほしい ■区の公園の市民グループへの前面委託 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■自然観察林を公開してほしい 		<p>自然観察林は、現在公園整備を行っており、29年春に開園いたします。</p>
<p>民有地・公共用地のみどりの保全</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■屋敷林などの既存のみどりを保全してほしい（7件） ■住宅の庭を大事にし、人々が楽しめる街づくりをしてほしい ■個人所有の樹林に対して規制を設けてはどうか ■農地や樹林の減少に対して、開発規制により守る必要がある ■緑地、沼・池等を一定比率で増やす、ないし回復する目標をたてて、予算を投入して購入・造成することにより、自然環境を確保してほしい 	<p>18</p>	<p>取り組み方針 1-5「民有地・公共用地のみどりの保全」において、民有地では、保存樹林の管理支援や、市民緑地制度などを活用して、みどりの保全を進めてまいります。また、公共用地では、用地確保に努めるとともに、緑地環境の保全・確保を進めてまいります。</p>

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ■更なる生物環境破壊を防ぐための具体策の要望（例えば空地の確保など） 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■国分寺崖線や成城のみどりを残してほしい 		<p>取り組み方針 1-1「国分寺崖線の保全」において、国分寺崖線の保全活動を進めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■植林助成金の検討 		<p>現在取り組んでいる緑化助成（生垣・花壇造成、シンボルツリー植栽など）を引き続き進めてまいります。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■街路樹の根元での緑化をしてほしい ■街路樹に力を入れて、生物多様性に広がりを持たせてほしい ■電柱に代わる街路樹文化の試行の要望 ■空地に樹木を植えてほしい 		<p>ご意見を参考にさせていただきます。</p>
河川・水辺のネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■「河川、水辺のネットワークづくり」は必要か ■野川の自然環境の向上を目指してほしい ■“生きもの拠点づくり”として、世田谷区の小学校のピオトープを活用したい ■ピオトープの実現を図ってほしい ■ピオトープによる環境影響について知りたい ■明正公園における小学生とのピオトープづくり 	6	<p>生きものは移動して生活しているため、生物生息空間である河川や水辺が繋がっていることが重要です。取り組み方針 2-1「河川・水辺のネットワークづくり」において、区民が身近に親しみ学べるよう、トンボ池やピオトープの造成など、地域に親しまれる水辺の再生を進めてまいります。</p>
民有地・公共用地の生物生息空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> ■みどりを残して生きものと共存する街づくりをしてほしい ■かつてあったような自然と共生する空間を再生してほしい ■守る自然と広げる自然を分けるとわかりやすい ■郷土種の位置づけについてどのように考えているのか周知してほしい 	7	<p>取り組み方針 2-3「民有地公共用地の生物生息空間づくり」において、民有地や公共用地の生物多様性に配慮した緑化を積極的に進めてまいります。</p> <p>その際に、世田谷の在来種の説明とともに、活用について周知してまいります。</p>

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ■塀をなくすなど生きものに配慮した宅地の在り方を検討してほしい ■コンクリートで舗装された場所を土に変えたり、庭木や街路樹の植栽に取り組む ■鉄道敷の緑化を進めてほしい 		ご意見を参考にさせていただきます。
外来種や野生生物への対応	<ul style="list-style-type: none"> ■外来種や外来生物への適切な対応をしてほしい（7件） ■人に害をもたらす生きものや園芸種や外来種について具体的な方針を示してほしい ■蚊の発生を抑制することも重要（2件） ■ドバトのフン害、餌やりなどへの対策を望む ■害虫・害獣も自然の一部であり、何かする際の負の影響へ配慮してほしい 	12	取り組み方針 3-1「外来種や野生生物への対応」において、野生生物による被害が深刻な場合には防除を実施してまいります。また、野生生物との共存や外来種への認識を高めるために、普及啓発を行ってまいります。
国や関係自治体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ■ほかの自治体との連携 ■土木計画課と協力してほしい ■他の区との多様性の比較と普及啓発をするとよい 	3	取り組み方針 4-1「国や関係自治体との連携」において、国・東京都・関係自治体と情報を共有するなど、連携して取り組んでまいります。また、庁内関係所管とも連携してまいります。
区民の活動を活性化する仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■多様な主体との連携（4件、小中高・事業者との連携を含む） ■活動団体への活動や発信に対して区がサポートしてはどうか ■一人でも自然に関することをやっている活動を拾い上げるツールが必要 	6	取り組み方針 4-2「区民の活動を活性化する仕組みづくり」において、活動団体や若い世代などの多様な主体の活動を活性化する仕組みづくりを進めてまいります。
生物多様性に関わる情報整理、発信の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ■生物多様性に関わるマップ作りを進めてほしい ■住民によるモニタリング体制を検討してほしい ■生きもの情報をオンラインで発信してほしい 	5	取り組み方針 6-1「生物多様性に関わる情報整理、発信の仕組みづくり」において、生きものに関わる情報の集約、区や各主体による継続的な

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ■自然系博物館構想を絶やさないでほしい ■世田谷区の文化度の高さを全国に発信できる取り組みを望む 		調査を実施し、それらの情報を活用してまいります。
生物多様性の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ■生物多様性を知り、活動する方法の普及啓発を行った方がよい ■イベントや普及啓発活動をお願いします ■「生態系のつながり」などを理解してもらい、「生態系サービス」について意識してもらう ■崖線ボランティア講座のような講座を計画してほしい ■「生物多様性の恵み」について何から学べばよいのか教えてほしい ■家庭でできる取り組みを教えてください ■緑の質の向上について周知してほしい ■サギ草等の区の花の普及啓発を図ったほうがよい ■区民に対する相談窓口を設けてほしい ■区関連の研究者による、世田谷区を例とした都市域における生態系サービスの経済評価(TEEB)の検討プロジェクトを立ち上げる 	10	取り組み方針 7-1「生物多様性の普及啓発」において、ご意見を参考に、生きものに関する知識や情報を共有できる機会・場を設け、区民一人ひとりが生物多様性に配慮したライフスタイルを確立するための普及啓発を行ってまいります。
生物多様性に関わる体験学習の場づくり	<p>①区民への体験学習において</p> <ul style="list-style-type: none"> ■区民の自然環境を守る心を養うことが必要 ■世田谷の自然資源を活かし、区民が生物多様性を学ぶプログラムがあるとよい ■バードウォッチングなどを通して世田谷内で見られる、鳥（野鳥）の紹介してほしい 	3	取り組み方針 8-1「生物多様性に関わる体験学習の場づくり」において、区民が人と自然の関わりについて、体験し、学ぶ機会を拡充してまいります。
	<p>②子どもへの体験学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■小学校で蝶の成育過程の学習を取り入れられないか ■区で小学生の観察・学習会を実施したり「流域地図」の考え方を伝えるなどして、区が持つ生物多様性について学べるのではないか ■外来生物に対して子どもたちが対策を考えて 	8	取り組み内容 8-1-1「学校や地域と連携した生物多様性に関する体験学習機会の拡充」において、ご意見を参考に、学校や地域と連携して、みどりのみずの学習機会

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<p>いく教育があってもよいのではないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ■子どもへの生物多様性に関する教育は 70～80 代世代に協力してもらう ■小中高の生物部によるコンペや発表会の場を作ってほしい ■次世代の子どもたちに配慮をしてください ■小学生の参加するプログラムが少ない ■子どもが自然とつながるような計画にしてほしい 		<p>を拡充してまいります。</p>
<p>生物多様性保全の人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■生物多様性の大切さを伝えることのできる人づくりが必要 	<p>1</p>	<p>取り組み方針 8-2「生物多様性保全の人材育成」において、生物多様性の保全に主体的に取り組み、参加の輪を広げていく人材の育成を図ってまいります。</p>
<p>世田谷の伝統文化の継承</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■「世田谷らしい農の伝承」は必要か 	<p>1</p>	<p>「せたがやそだち」などの世田谷らしい農文化は、生物多様性の恵みの一つです。このような恵みを将来にわたって受け続けるために、農の継承に努める必要があります。</p>
<p>リーディングプロジェクト</p>	<p>①リーディングプロジェクトへの賛成意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ■リーディングプロジェクトは大変よい ■ちょこっと空間づくりのために植物を植えた鉢や花などを置くとよい ■ちょこっと空間づくり賛成です ■ちょこっと空間を Website などに載せられるとよい ■住民参加のプロジェクトを実施してほしい ■種から樹を育てるプロジェクトがあると楽しいのでは 	<p>6</p>	<p>ご意見を参考にさせていただきます。</p>

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<p>②リーディングプロジェクトへの反対意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ちよこつと空間づくりなどはもってのほか ■ドバトのフンなどに困っているので、ちよこつと空間づくりは削除してほしい 	2	取り組みを実施していく際に、注意点についても周知してまいります。
進行管理	<ul style="list-style-type: none"> ■取り組みに対する評価やアドバイスをもらうことも必要 ■具体的な数値目標設定が必要 ■取り組みの報告、発信が必要 	3	ご意見を参考に、追記・修正いたします。
行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ■継続事業は、生物多様性の視点から事業の内容を再度検討してほしい 	10	プラン策定にあたり検討した継続事業の生物多様性に配慮した取り組みにつきまして、プラン策定後、実行にうつしてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ■このプランのスタート段階で生物多様性の理解を深めること、専門的知識を学べる機会を作っ てほしい 		プラン策定の周知から、イベントや講座を通じて普及啓発に努めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ■「まちの生きものしらべ」による勉強会を実施するなど、事業のレベルアップを図ってほしい 		取り組みを実施していく際の参考にさせていただきます。
	<ul style="list-style-type: none"> ■区、トラスト、活動団体における情報ネットワークの構築をしてほしい ■区民意識向上に向けて、区の生きもの情報を広報する媒体を作っ てほしい 		取り組み内容 6-1-1「生物多様性に関する情報の集約・管理と活用」において、ホームページなどの情報媒体を活用した生きもの情報の発信を行ってまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ■内容の表記方法や表現に係る具体的な修正意見（誤植の修正指摘も含む。個別具体的に 17 件） ■取り組み内容 3-1-2 ハチ に関する記載について「ハチ」に限定せず「ハチなど」の表記がよい 		ご意見を参考にさせていただき追記、修正してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ■「特に役割を担う主体」として、世田谷トラストまちづくりを併記してほしい 		行動計画の該当する取り組みにおいて、記載しております。

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ■3つの柱を代表するモデル事業を考えてほしい ■取り組み内容 1-1-1「国分寺崖線湧水調査」に付随して、調査の継続に加え、湧水保全のための「政策検討」や「試行」なども、工程計画を含めて追加してほしい 		ご意見を参考にさせていただきます。
巻末資料	<ul style="list-style-type: none"> ■生物目録の追加作成と既存情報の精査を望みます ■活動団体作成資料についてみつ池の活動報告書や、すみればの生物種目録などを掲載してほしい ■「主な重要種」の選定基準がわからないので、工夫してほしい ■年号表記は統一してほしい ■植栽種だとわかる表記にほしい ■誤字の指摘 ■出典転記の指摘 	10	ご意見を参考にさせていただきます。追記、修正してまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ■外来種の解説内容は文章が分かりづらい。侵略的外来種の認識が違う。 ■区の生きものデータを継続して収集してほしい 		「侵略的外来種」の定義は、環境省に従っております。取り組み内容 6-1-1「生物多様性に関する情報の集約・管理と活用」において、継続した生物調査に努めてまいります。
	<ul style="list-style-type: none"> ■現地調査結果の報告書を文献資料として残し、将来活用できるようにしてほしい。 		取り組み内容 6-1-1「生物多様性に関する情報の集約・管理と活用」において、ご意見を参考に、各情報を活用する方法を検討してまいります。
世田谷みどり33について	<ul style="list-style-type: none"> ■みどり33政策をしっかりと行ってほしい（実行を伴う施策を希望。） ■「みどり33」を区内に宣伝する必要がある 	3	引き続き、世田谷みどり33の事業につきまして、取り組みを続けてまいります。また、イベントやホームページなどの媒体を通して、「世

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<p>■緑被率(みどり率)についてこれまでの推移と今後の具体的な達成目標が見えない。末端地域としてのより具現可能なプランを示す必要がある</p>		<p>田谷みどり33」の周知を進めてまいります。</p> <p>平成 23 年度に実施した「世田谷区土地利用現況調査（みどりの資源調査編）報告書」において、平成 23 年度までのみどり率の推移をご覧いただけます。また、28 年度にも同調査を行っており、その結果を平成 28 年度末～29 年度初めに公表いたします。今後の計画内容につきましては、平成 29 年度に策定予定のみどりとみずの基本計画において検討してまいります。</p>
その他	<p>■河川・水辺のネットワークづくりにおけるサイクリングロードの整備</p> <p>■生きものが減った（2 件）</p> <p>■アゲハチョウを増やしたい</p> <p>■ツバメの巣を保護するために掃除代を助成してはどうか</p> <p>■アオダイショウが生息している世田谷はよい環境</p> <p>■大きな公園ではセミの音が聞けるが、水田がないのでカエルを見たことがない。区の公園は整備されていてよいが、空気が悪いのか星空が見えない</p> <p>■多くの学生が集まる地域を緑の多い街にしたい</p> <p>■仙川を子どもに開放してほしい</p> <p>■農園だった場所のマンション建設はプランに反しているのではないか</p> <p>■オリンピック開催に向けた自然を破壊する行為に反対</p>	17	<p>「生きものつながる世田谷プラン」で掲げている将来像の実現に向けて、住宅都市のリーディングモデルとなるよう、生物多様な街づくりを進めてまいります。</p>

項目	意見の概要	件数	意見に対する区の考え方
	<ul style="list-style-type: none">■線路脇の空き地に花を植えたい■メダカや犬の飼育方法を教えてほしい■森林は酸素を生み出し、気温の上昇を緩和する■生物多様性は深刻な危機に直面している■*****は生物多様性砂漠そのもの■猫カフェは猫の散歩のために公園の隣に作ってほしい		

2. 素案からの変更点

主な変更点

	頁	パブリックコメント意見	プラン修正内容
本編	第 2 章 26～31 頁、 巻末資料 104～107 頁	生きものの種名や分類について既存情報を精査してほしい。	現地調査および文献調査の結果について、文章および図表を再整理しました。
	第 5 章 72～75 頁	リーディングプロジェクトについて賛同する。実践してほしい。	4つのリーディングプロジェクトそれぞれについての具体的な進め方がわかるよう文章を追記し、再整理しました。
	第 5 章 76 頁	取り組みに対する評価やアドバイスをもらうことが必要。	行動計画の個別取り組みについて、区民意見および環境審議会での意見を取り入れて進行管理していくことを追記しました。

その他の変更点

	頁	パブリックコメント意見	プラン修正内容
本編	4,7,25,32, 48,53,61, 109, 112～114, 116～130, 139 頁	<ul style="list-style-type: none"> ・重要種に関わる掲載写真について配慮してほしい。 ・文章の表現方法を見直してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要種が生息する場が特定できないよう、写真の差し替えや生息場の標記を修正しました。 ・文章をより正確でわかりやすい表現に修正しました。
行動計画	19,22 頁		<ul style="list-style-type: none"> ・年号の表記を統一しました。